

[説明資料(提出ファイル)] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	秋山大翼 技術教育専攻 鎌田ゼミ 院生チーム	大学名	愛知教育大学
作品名	端材・廃材の木材を利用したベンチの作成	人数	1名

1. 目的

本作品(図1)は講義「木材加工演習」において木材加工室で保管されている端材・廃材となる木材を用いた作品を設計・作成が課題となったため作成した。

2. 作品について

本作品は研究室で私が座ることを想定している。木材は大学の木材加工室で保管されていた廃棄予定の木材を利用した。また, 今後の教材になるように, 簡単に作成できる加工を多くした。

3. 工夫点

本作品は設計から作成完了まで60~90分×5回で完了するようにシンプルなデザインにした。天板として利用した木材は表面が黒くくすんでおり湿気による反りが見受けられた。そのため, かんながけにより表面をきれいにし平らになるようにした(図2)。天板裏に取り付けた木材について, 釘の長さが木材の厚さより短かったため, 釘を打つ場所を薄くなるように加工した(図3)。図3の後に取り付ける木材は, この薄くする加工が上手にできていないと取り付けられないため, 教材として加工の精度が意識することができるようになってきている。また, 脚がぐらつかないように, 床に近い場所に脚と脚の間に丸棒を取り付けた。丸棒は脚に空けた穴(図4)に通すことによる取り付けを行った。穴の大きさは20φである。

4. 今後の課題

教材化に向けて, 天板として用いることができる木材が中学校現場にあるか実態調査を行い, 費用を抑えることができるか確認する必要がある。



図1 作成した作品

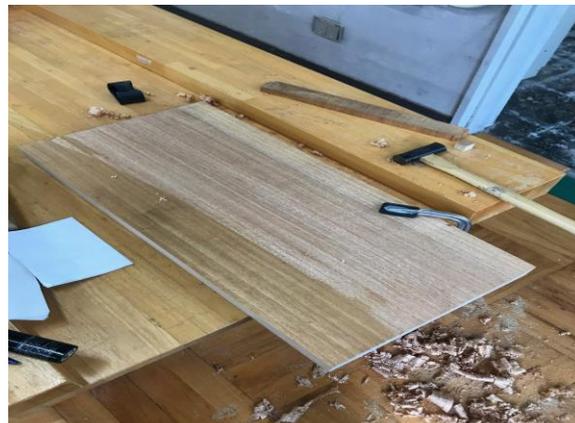


図2 天板に使用した木材

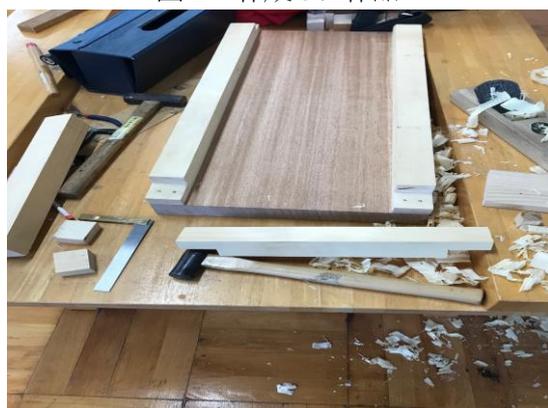


図3 木材の取り付け



図4 脚に穴あけしている場面